



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2022年2月13日(日) 9:30~12:00(曇り)

参加者 一般:2名(こども0名)

指導員:2名

## テーマ いきものの冬越し

今回の参加者は4名と少なかったのですが、前回に続きWebページを見て初めて参加された人が1名みえました。自然観察会もWebでの集客が新しい傾向でしょうか。

テーマは「いきものの冬越し」でしたが、参加者の一人が公園内でイカルの大群(100羽以上)を見かけたと情報提供してくれたので、おのずと鳥に注目が集まりました。

今季、ツグミは市街地ではそれほど姿を見かけませんが、ここでは100羽近くが群れていました。駐車場に植えられたクロガネモチの実をついばみに飛来したり、堤防に生えているサンシュユの枝に集団で止まったりしていました。

川原の柳には前回と同様、オオタカ程度の大きさの猛禽が止まっていますが、背面だけしか見えず種の同定はできませんでした。オオタカは大野極楽寺公園を歩いている時に上空を飛びました。

堤防道路を行くと、川原の草原でシジュウカラ、ビンズイ、ベニマシコ、ショウビタキなどを観察することができました。じっと目を凝らしていると枯れた草の間で動くものがあり、双眼鏡で見ると黒、白、褐色の模様が特徴的なアトリを何羽か確認できました。

公園内では何カ所かでイカルの群を見かけました。今季は大きな群がこのあたりに来ているようです。途中で出会った人から、イカルの群の中にコイカルが何羽か混じっていること、トラツグミやオオコノハズクが来ていることを聞きましたが、この日は姿を確認できませんでした。

サンシュユの木に残った赤い実にはメジロが数羽群れていました。

大野極楽寺公園では、ミヤマウグイスカグラの花が咲き始めていました。ここでは12月から咲き始めますが、今季は例年より花期が遅めのようで、蕾はたくさんありましたが開いている花は少数でした。

また、例年ならエノキの幹で集団越冬をしているヨコヅナサシガメの幼虫を探しましたが、どういう訳か今回は見当たりませんでした。(報告:齋竹)

### <その他観察できたもの>

鳥:トビ、アオジ、ホオジロ、シメ、カワラヒワ、エナガ、コゲラ、シロハラ、スズメ、キジバト、ダイサギ、アオサギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ウグイス(声)、キジ(声)

花:ヤブツバキ、ロウバイ、ウメ



(野鳥観察のようす)



クロガネモチの実に来たツグミ



地上におりたイカルの群



サンシュユの実とメジロ



ミヤマウグイスカグラの花